

ERP/Aオートサーバー」の運用を開始した。リース展開も始めており、リース料金はサーバー代金込みで月22万円（税込み）。DAFS会員である半導体、電子部品を扱う商社、メーカーなどに加え、DAFS会員以外にも展開する。

chemSHERPAは製品に含有する化学物質伝達ツールとして経済産業省主導で運用されており、DAFSではchemSHERPAなどの環境データ作成業務の代行サービスを行ってきた。chemSHERPAオートサーバーでのchemSHERPAの作成実績数は115社に上る。手動データ入力に比べ

て非常に高速かつ正確に作成でき、作業効率が5倍に高まった例もあるという。入力ミスなどのヒューマンエラーも防止でき、正確性も高まる。

chemSHERPA自動変換では、フロントエンドサーバーで材質、物質名、質量処理を、バックエンドサーバーでchemSHERPA成分情報作成が行われるもよう。ユーザーはこのシステムを使用することにより、自社のノウハウ蓄積が可能になる。また、当該セクションの人事異動があった際にも引き継ぎが容易になるほか、生産性向上かつ経費削減も図ることができる。

●DAFS

データ作成ツール リース提供を開始

日本半導体商社協会（DAFS、東京都渋谷区）は、半導体や電子部品を構成する化学物質の成分表からchemSHERPA（ケムシエルパ）の出力データであるshaiファイルを自動作成する「chemSH

